

処方「なぜ?」がわかる
臨床現場の
薬理学

蓄積した知識に新たな視点を加え、
明日の診療に活かす!

序	今井 靖	3 (2415)
Color Atlas		9 (2421)

第1章 総論：薬物治療における基礎知識

1. 医薬品の臨床研究開発と新しい法令指針の考え方……………真田昌爾 12 (2424)
1. 医療行為における「診療」と「研究」の境界線 2. 研究ガイドラインとしての日本の臨床研究法令指針 3. 法令指針に反映された新しい臨床研究の考え方
2. 医薬品投与後の薬物濃度
～薬の吸収・分布・代謝・排泄 (ADME) ～……………山田安彦 19 (2431)
1. 医薬品投与後の血中薬物濃度 2. 医薬品の投与経路 3. 薬物の吸収, 分布, 代謝, 排泄 (ADME) 4. 血中薬物濃度推移の見方
3. 臨床薬物動態学……………家入一郎 26 (2438)
1. 薬物の曝露 2. 薬物の消失 3. 薬物の分布

- 4. 処方箋と医薬品情報**……………海老沼慶一 35 (2447)
1. 処方箋の記載方法 2. 医薬品情報の収集のしかた
- 5. 臨床試験を読み解くための試験デザイン・統計学の理解** ……小出大介 44 (2456)
1. 試験デザインについて 2. 統計学の知識
- 6. ライフステージそして臓器機能障害に応じた薬物動態変化と薬物治療の注意点**
……………牛島健太郎 51 (2463)
1. 成長および加齢による薬物動態変化 2. 臓器機能低下による薬物動態変化
- 7. TDMを臨床に活かす**
～バンコマイシン投与例でTDMを体感しよう～ ……今関 稔 58 (2470)
1. 血中濃度の目標値と測定タイミング 2. 用量調節方法 3. 用量変更後の濃度測定タイミング
● Advanced Lecture : 1. AUC-based dosingの実践 2. そもそもAUCとは? 3. Sawchuk-Zaske法を用いたAUC算出方法 4. AUCの算出 5. AUCから用量設定へ
- 8. 薬物相互作用** ……………山田 凜 66 (2478)
1. 薬物動態学的相互作用 2. 薬力学的相互作用
- 9. 薬理遺伝学** ……………荒川泰弘, 志賀 剛 73 (2485)
1. 薬理遺伝学による個別化医療の実現 2. 保険承認されている薬理遺伝学検査
- 10. 臨床医が知っておくべき薬物の加工・製剤** ……小倉明子, 羽金智彦 79 (2491)
1. 錠剤の半錠化と粉砕化 2. 製剤技術により粉砕不可となる剤形 3. 簡易懸濁法 4. 院内製剤
- 11. 薬における安全管理・適応外使用 / 未承認薬における手続き**
……………飛鷹範明, 高田裕介, 田中 守 86 (2498)
1. 当院における薬の適応外使用 / 未承認薬における手続き 2. 当院における未承認新規医薬品等の申請等状況

第2章 各論：各疾患における薬物療法を再整理する

1. 循環器……………木田圭亮, 川越康仁 93 (2505)
 1. 心不全に対する治療戦略 2. 薬理から考える薬の使い分け

2. 消化管疾患 ……………甲斐 恵 101 (2513)
 1. 消化性潰瘍 2. 慢性便秘症 3. 潰瘍性大腸炎

3. 呼吸器……………長瀬洋之, 石井 聡 111 (2523)
 1. 気管支喘息とCOPDにおける吸入療法 2. 気管支喘息に対する生物学的製剤 3. 間質性肺炎に対する抗線維化薬

4. 腎臓（慢性腎臓病）……………花房規男 121 (2533)
 1. 薬理から考える薬の使い分け

5. 糖尿病・脂質代謝
～心血管イベント抑制・予後改善をめざした薬物療法～
……………櫻井百恵, 矢作直也 128 (2540)
 1. 糖尿病治療薬の選び方 2. 脂質異常症治療薬の選び方

6. 内分泌分野の薬理学（甲状腺, 副腎疾患）……………竹内 牧, 槇田紀子 138 (2550)
 1. 甲状腺：薬理から考える薬の使い分け 2. 副腎：薬理から考える薬の使い分け

7. 神経……………嶋崎晴雄 146 (2558)
 1. 脳血管障害にかかわる薬剤 2. パーキンソン病治療薬 3. 頭痛に対する治療薬 4. 認知症に対する薬物療法

8. 向精神薬・睡眠薬
～不眠・抑うつを中心に～……………肥田道彦 159 (2571)
 1. 向精神薬とは？ 2. 「眠れない」と受診した患者さんがいたら、まず何をするか？ 3. 不眠・不穏とは何か？ 4. 不眠治療をすすめるうえで念頭に置くことは？ 5. 不眠を引き起こす原因とは？ 6. 薬理から考える睡眠薬の使い分け 7. 抗うつ薬の種類と選択 8. 気分障害との鑑別が重要!! 9. うつ病患者の不眠治療で念頭におくことは？ 10. 睡眠障害とせん妄、抑うつとの鑑別

- 9. 麻酔に必要な薬剤** 假屋太郎 169 (2581)
1. 麻酔関連薬総論
 2. 吸入麻酔薬
 3. 静脈麻酔薬
 4. オピオイドなど
 5. 筋弛緩薬
 6. 局所麻酔薬
 7. トラブルシューティング
 8. 薬理から考える薬の使い分け
- Advanced Lecture : PK-PDモデル
- 10. 感染症に対する薬物療法** 四柳 宏 176 (2588)
1. 抗菌薬を選択する場合に考慮すること
 2. 抗菌薬のPK/PD理論に関して
 3. 抗菌薬濃度のモニタリング
 4. 新型コロナウイルスワクチン (mRNA ワクチン)
 5. 新型コロナウイルス治療薬を使用する際の薬物相互作用
- 11. がん薬物療法** 満間綾子, 安藤雄一 181 (2593)
1. がん薬物療法の目的と特徴
 2. 薬理から考える抗がん薬の使い分け
 3. がん薬物療法の実践
- 12. 関節リウマチ** 川人 豊 191 (2603)
1. 抗リウマチ薬の分類
 2. 薬物療法の原則
 3. 薬理から考える抗リウマチ薬の使い分け
- 13. 血液疾患** 伊豆津宏二 199 (2611)
1. 貧血の鑑別診断と治療
 2. 悪性リンパ腫の治療
 3. 慢性骨髄性白血病の治療
- 14. 感覚器 (眼科領域) に用いる薬物療法** 大野 翼 205 (2617)
1. 散瞳と縮瞳
 2. 薬理から考える散瞳薬・縮瞳薬の使い分け
 3. 緑内障
 4. 薬理から考える緑内障治療薬の使い分け
- Advanced Lecture : 点眼液の1滴って何mL?
- 15. 原発性骨粗しょう症治療薬**
～知っておきたい基礎知識～ 榎田信平 214 (2626)
1. 骨粗しょう症の病態
 2. 薬理から考える骨粗しょう症治療薬の使い分け
 3. 薬剤選択と治療目標
- 16. 産科・婦人科領域** 濱田佳伸 221 (2633)
1. 月経周期におけるPGの分泌・作用を理解し, NSAIDsを適切に使用する
 2. エストロゲン・プロゲステロンの作用を理解し, 適切な低用量ピルの使用やHRTを行う
 3. 子宮収縮のメカニズムを理解し, 陣痛促進作用を有するオキシトシン, プロスタグランジン, 子宮収縮抑制作用を有するリトドリン・マグネシウムを使用する
 4. 内服の排卵誘発剤であるクロミフェン, レトロゾールの作用について理解する

17. 泌尿器系榎本 裕 233 (2645)

1. 排尿機能の解剖生理
2. 下部尿路症状の評価
3. 前立腺肥大症
4. 過活動膀胱
5. 症例への対応

18. 皮膚疾患藤本 学 240 (2652)

1. 皮膚疾患治療薬の投与経路
2. 薬理から考える皮膚炎症性疾患治療薬の使い分け

19. 漢方薬を使いこなすためのミニマルエッセンス原田智浩 246 (2658)

1. 漢方の世界観
2. 証の把握
3. 薬理から考える薬の使い分け
4. 代表的な病態に使う漢方薬

20. 免疫抑制薬

～臓器移植患者を診察するとき～大友慎也 255 (2667)

1. 薬理から考える薬の使い分け～臓器移植に用いる免疫抑制薬～
2. 処方の実際
3. 免疫抑制薬服用中の臓器移植患者を診察するとき

● **索引** 265 (2677)

● **執筆者一覧** 271 (2683)

Column

うつ病と併存症 166 食-薬相互作用 262